

Vertica バージョン 8.0.1 の新機能: Geospatial 機能性の向上

原文は[こちら](#)

Vertica バージョン 8.0.1 では、Geospatial (地理空間) 機能に関する2つの大きな拡張があります。まず、ポリゴンの空間インデックスを構築する際の、Vertica のパフォーマンスが向上しました。8.0.1 より前は、空間インデックスを作成またはリフレッシュする前にすべてのポリゴンの妥当性をチェックしていました。妥当性検査を排除することにより、空間インデックスがより速く構築されます。

この新機能に伴い、空間インデックスを作成または更新する前に、すべてのポリゴンの有効性をチェックすることをお勧めします。ST_IsValid 関数と STV_IsValidReason 関数を使用して、ポリゴンの妥当性をテストできます。詳細については、Ensuring Polygon Validity Before Creating or Refreshing an Index を参照してください。

次に、Vertica ユーザーは、EXPORT TO VERTICA ステートメントを使用して、GEOMETRY および GEOGRAPHY データを含む列を別の Vertica データベースにエクスポートできるようになりました。以前のリリースと同様に、地理空間データ型をシェイプファイルにエクスポートすることもできます。

Vertica 8.0.1 でこれらの新しい Geospatial (地理空間) 機能を試してみてください。Community Edition は、<https://my.vertica.com/download/vertica/community-edition/> で入手できます。